

質問 ; ピッチャープレートに白線で円が描かれていますが、どのような意味があるのですか。

回答 ; これもソフトボール・ルールの特徴の一つでしょう。正式には「ピッチャーズ サークル(通常は「ピッチャーサークル」と言っています)」といいます。ルール 1-56 項によると「投手板の前縁の中心から半径2.44mの円をいう」となっています。(下図ご参照)

ソフトボールでは、投球時、投手の手から球が離れるまで、走者は塁を離れることができないことはご存知だと思います。基本的なルールです。野球のように投球前に塁を離れると「離塁アウト」になります。

それからもう一つ大切なルールがあります。それは、投手がボールを持ってピッチャーサークル内に入った(いる)場合、走者は塁に触れていないとアウトになるというルール(8-6 項 14.)があります。「投手にスキがあれば盗塁…」と考えるのは自滅行為です。投手がボールを持ってサークル内にいるときはボールインプレイですが、投手がプレイを行わない限りゲームは動かない状態です。

【ここからは、監督等指導者の方は十分ご理解いただき、ご指導ください】

1. 投手がボールを持ってピッチャーサークル内に入った(いた)が、ボールを落としたり、手から離したりした場合、走者はアウトになる危険を承知で進塁することができます。靴のヒモを結び直す、あるいはユニホームを直す等でボールを手から離す場合は、必ず審判員に「タイム」を要求してから行うよう注意が必要です。
2. 進塁中の走者は、そのまま進塁することができます。
3. 四球で一塁に向かうとき、打者走者は一塁の直前、または一塁上に停止したのちに、突然走り出しとアウトになります。この意味は、同じ速度で走れば一連の動作として進塁してもよろしいということであって、一塁の直前あるいは塁上で走る速度を緩め、また突然走り出すとこのルールに違反したとしてアウトになります。
4. 塁を離れていた走者は、直ちに、塁に戻るか、次の塁に進塁しなければなりません。ポイントは「直ちに」です。塁を離れている打者走者・走者が投手を牽制するような行為は、塁から離れていると見做されてアウトになる場合があります。
5. 「ピッチャーサークル内にいる場合」とは、球を持ち、両足が完全に入っている状態をいいます。

